



みんながつながり 「夢が育つ学校」に

国立二小だより

平成29年9月1日

国立市立国立第二小学校

校長 小林 理人

「結実」

楽しい思い出と蓄えた力を生かして

校長 小林 理人

楽しかった夏休みも終わり、真っ黒に日焼けをした笑顔いっぱいの子供たちが登校をしてきました。子供たちの元気な声を聞くと、学校の主役が子供であることをあらためて感じます。夏休みに蓄えた力と夏休みに取り組んだ2学期に向けての準備を生かして、今日から「結実」の2学期がスタートします。

夏の「楽校」で思い出づくり

夏休みの国立二小は、この地域ならではの楽しい体験がたくさんできる「夏の楽校」でした。この「夏の楽校」を支えてくださった皆さんに、この場をお借りして感謝申し上げます。

○二松クラブと学校に泊まる会

地域や保護者の皆様にご協力いただいた二松クラブや学校に泊まる会には、今年も多くの子供たちが参加をしました。たくさんの温かい心に触れ、絆づくりや思い出づくりにつながる貴重な体験をすることができました。

○地域の盆踊り

校庭で行われた地域の盆踊りは、卒業生も準備に加わるなど地域の皆様による手作りのものでした。今年も、浴衣姿の子供たちや、お小遣いで買った屋台のお菓子やおもちゃを手にした子供たちの笑顔があふれるすばらしい盆踊りとなりました。

○水泳教室

プールでは、学校での水泳指導に加え、くにたち市民総合体育館が主催する水泳教室も行われ、子供たちの泳力アップにつながりました。

2学期に向けて蓄えた力と準備

2学期は運動会や学芸会など1学期に身に付けた力を生かして、それを成果として発表する機会があり、子供たちの大きな目標となります。また、5年生の野外体験教室、夏休みに取り組んだ自由研究や学年毎の課題学習は、2学期からの学習や生活につながる価値のある取組です。

○伝統の二松ソーラン（6年生）

6年生は、運動会で披露する伝統の二松ソーランを地域の盆踊りで披露しました。たくさんの皆様の前で踊る機会をいただけたことで運動会に向けての大きな自信になりました。

○野外体験教室（5年生）

5年生は、3日間の野外体験教室に行きました。「協力すること」を全体のテーマとして、ハイキングや体験学習に取り組みました。一人では感じるできない楽しさを味わい、71人の仲間の絆を確かめ合う3日間となりました。

○自由研究等の学習

自由研究や夏休みの課題、習い事などで力を付けたり、普段の生活ではできない貴重な体験をして視野を広げたりした子供たちも多かったようです。有意義な夏休みを過ごしたことが自信たっぷりの表情から伝わってきます。

○教職員にとっての夏休み

教職員にとっての夏休みは、子供たちが気持ちよく学習を進めるための準備や授業づくりのための研修の機会です。教員は経験年数や役割に応じて様々な研修や連絡会に参加をしました。また、学校生活を支える職員は、教室や廊下をピカピカに磨き、ワックスがけをしたり、必要な道具や設備を整えたりといった仕事に汗を流していました。この夏休みに蓄えた力や、計画的に進めた準備を、一人一人の子供たちの豊かな実りにつなげ、心ひとつに笑顔いっぱいの2学期にしていきます。